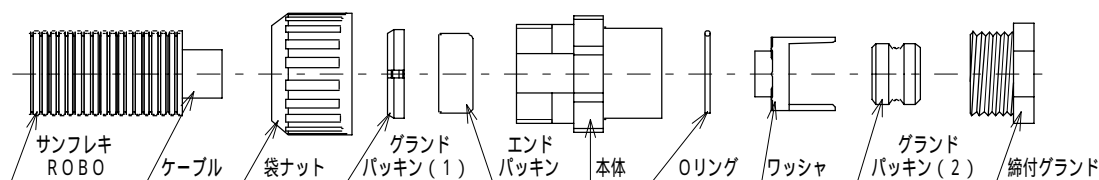


N2HBI 管端ブッシングの施工は、下記の要領で行って下さい。

1. サンフレキ ROBO 附属品 N2HBI 部品構成

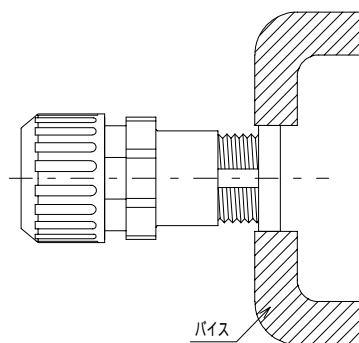


2. サンフレキ ROBO を必要な長さに切断します。

切断は、フレキシブルカッター（メリー製 品番 FL38）又はカッターナイフをご使用下さい。
切断は、サンフレキ ROBO の溝部に沿って、垂直に行ってください。

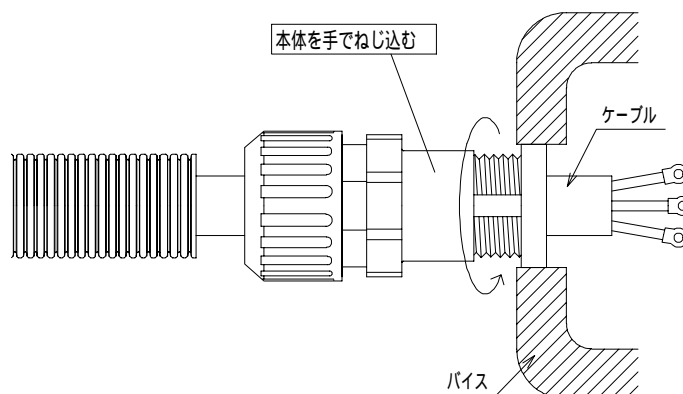
3. ブッシングをバイスに固定します。

バイスで軽く締付グラウンド平取部を固定して下さい。



4. ブッシングにケーブルを仮止めします。

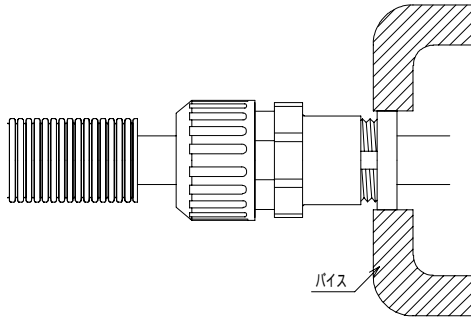
ケーブルを必要な長さまでブッシングに挿入し、本体を手でねじ込み、仮止めして下さい。



5. ケーブルを固定します。

本体を縦型アルミモーターレンチ(トップ工業株)等を用いて、ケーブルを手で引っ張っても抜けない程度にしっかり締め付けて下さい。

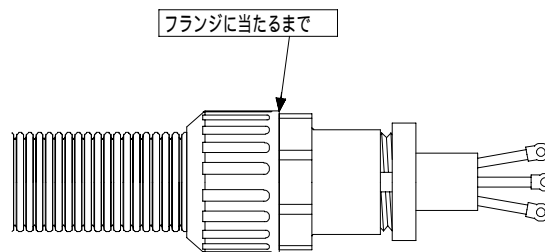
トルク管理が必要な場合は、右表を参照して下さい。ただし、ロボットケーブルのように柔軟なケーブルには×0.4程度が適切です。



ケーブル径(mm)		締め付けトルク (N・m)
最大	最小	
12	4	8.0
16	12	12.0
24	16	14.0
40	24	18.0

6. サンプルレキ ROBO を接続します。

サンプルレキ ROBO を袋ナットに確実に押し込んだ後、袋ナット端面が本体フランジ部に当たるまで、手で確実に締め付けて下さい、カチッと固定される感触があります。



締め付け後、袋ナットを逆回しにして袋ナットが戻らない事を確認して下さい。

作業終了

注意 本体を固定した状態で締め付クランプを締め付けた場合、ケーブルが共回りしてねじれが生じ、断線する恐れがあります。